

月刊★星空の散歩道 2021年 12月号

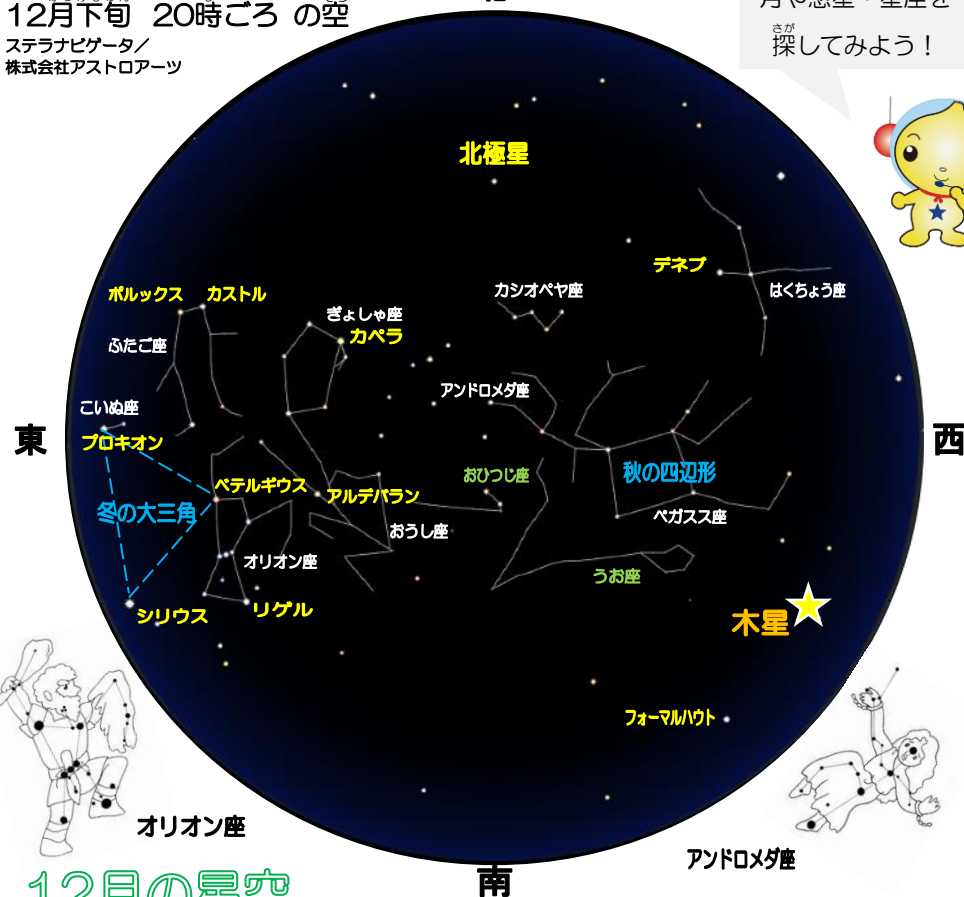
12月上旬 21時ごろ

12月下旬 20時ごろの空

ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ

北

つき わくせい せいざ
月や惑星・星座を
さが探してみよう！



12月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に秋の星座が見え、東の空に冬の星座が見える。

- < 西 > はくちょう座 (デネブ)、ペガサス座
- < 天頂 > アンドロメダ座、おうし座 (アルデバラン)
- < 東 > ぎょしゃ座 (カペラ)、ふたご座 (カストル、ポルックス)、
こいぬ座 (プロキオン)、オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)
- < 北 > 北極星、カシオペア座

☆天文トピック☆

12月4日 金星が最大光度

金星の明るさが最大となります。光度はマイナス4.7等。夕方、まだ明るいうちに見えるかも？

12月14日 ふたご座流星群が極大

3大流星群のひとつです。ピークは14日16時頃と予想されています。観察には13日の夜遅く～14日の明け方と、14日の夜遅く～15日の明け方にかけてがおすすめです。

12月22日 冬至

北半球では、1年で最も昼間の時間が短くなります。

☆月の形の変化☆

- 12月 4日 新月 ●
- 12月 11日 上弦 ◐
- 12月 19日 満月 ○
- 12月 27日 下弦 ◑

☆12月の惑星☆

金星…夕方、南西の空

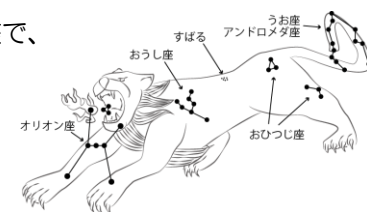
木星…日没後、南の空

土星…日没後、南の空

<天文コラム> 白虎 ～中国の星座～

空気が澄み、星が美しい季節になりました。宵空を見上げると、頭の真上近くには秋の星座アンドロメダ座が、東の方からは冬を代表するおうし座やオリオン座が姿を見せるようになりました。よく耳にするこれらの星座は、主に西洋で発展し、現代に伝えられたものですが、古来より世界各地で様々な星座が考えられていました。

昔の中国では、天の赤道付近に28の星座「二十八宿」をつくり、それを七宿ずつ4グループに分けて、天の方角を司る霊獣の『四神(四獣とも)』の姿を描きました。北の「玄武」、東の「青龍」、南の「朱雀」、そして西の「白虎」です。奈良県明日香村にあるキトラ古墳の壁にも描かれた、この霊獣の名前を聞いたことがある方もいるかもしれません。このうちの「白虎」は、アンドロメダ座・うお座・おひつじ座・おうし座・オリオン座にまたがる明るい星が多い星座で、ちょうどこの季節にその姿の全容を見ることが出来ます。暖かく着込んで、初冬の空にこの守り神の姿を想像してみてもいいのではないでしょうか。



伊丹市立こども文化科学館 発行日 2021年11月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>

